

茨木高校野球部

OB会報

発行

大阪府立茨木高校
野球部OB会

健康 雑感

吉川 恒太郎 (高二回)



今年もまた、OBも現役も心を躍らせる夏の高校野球大会がやってきます。まさに血を吐く猛練習で鍛えられたお蔭と、運の良きで大阪予選の決勝戦まで駒を進めることが出来たのは今から四十四年も前のことです。勝った浪商は甲子園出場、片や吾々は拍手しながら無念さを噛みしめる。云わば天国と地獄の気持を味った一人です。而し毎年夏が来ると当時のあれこれ

が去来し、胸がキューンと熱くなるのを禁じ得ません。現役諸君に於いても将来、大きな楽しい想い出となる様、せいぜい体を痛めてつけてボールに、バットに青春をぶつけて下さい。私は「野球と人世」について云々する方ではないので、ここでは健康について体験の私見を述べてみたいと思います。一昨年胃のむかつき、極度の食欲不振から入院させ

られ、胃腸の検査を受けたことがあった。容姿はともかくとして、胃腸には絶対的自信を持っていたのがダウンするとはわねながらシンヨックであったが六〇年近くも働きづめで、その間ずい分と無茶を強いてきたわけゆえ、いくら丈夫とはいえ、SOSの信号が点滅する箇所が出てきてもおかしくない。一カ月余におよぶ長期入院は初経験で、結局は外科病棟への移動もななく、慢性的胆のう炎のしわざというものであったが、しみじみと健康のありがた味を痛感した次第。入院中に気づいたことにつき述べてみたい。まず病人の多いのに驚いた。病室は常に満員であり、退院者が出れば翌日にはちゃんとうまっている。この病院は総合病院でなかなかでつかく、例えば一五〇メートルもある廊下の待合いの長椅子に朝の九時ともなれば、外来患者が鈴なりであり、まことに

壮観な眺めである。いろんな医科で病んでいる人が多いのをあらためて認識したわけだが、昨今の健康産業の繁昌ぶりもむべなるかなと思つたものである。前途の長廊下であるが朝の七時ごろ、夕方は六時ごろになると入院患者専用のジョギングならぬウォーキング場に早変わりしており、十数人の男女がもくもくと、リハビリにはげんでいる。その中に腰のまがつたおばあさんが杖をつきながら「オイチニイ、オイチニイ」とかけ声をかけて歩いているのをよく見かけた。八十三才になるこのおばあさんが深かついていけるよう朝夕ががんばっているのです。ハイ！という言葉に逆にこちらが励まされているように頭のさがる思いがした。

現役大会前激励会

(1) 日時 6月23日(日) 午後6時より
(2) 場所 茨木高校久敬会館

なお、当日下記の通り練習試合を行ないますので御観戦下さい。

9時 茨木高校—山田高校
12時 山田高校—今宮工業高校
3時 茨木高校—今宮工業高校

行事予定

○ 6月23日(日) 現役大会前激励会
○ 1月12日(日) OB総会および新年会

に寝つきのよい私もさすがにお手あげとなり、睡眠薬の助けを借りねばならなかった。また中老年のオジンは朝晩といわずオナラをブーと、遠慮なく鳴らしており、これには時どき吾輩も喜んで同調したものである。

健康法については、世間でいろいろいわれており各自独特の方法で健康管理をしておられると思うが、私なりに聞きかじりも加えて次のようなポイントに気を

春暖の候、皆さまには愈々ご清祥のこととお慶び申し上げます。現役の選手も、石田監督の指導のもとに着実に力をつけ逞ましいチームに育っております。新入生も二十名とマネージャー二名が入部し、総勢四六名という大所帯になりました。今年の一年生の体格は、大きい生徒が多く、頼もしい限りです。今年から、「保護者の会」が発足されました。保護者同志の親睦と、野球部に対する経済的

つけるよう会社で若い連中にお手あげとなり、睡眠薬の助けを借りねばならなかった。また中老年のオジンは朝晩といわずオナラをブーと、遠慮なく鳴らしており、これには時どき吾輩も喜んで同調したものである。

健康法については、世間でいろいろいわれており各自独特の方法で健康管理をしておられると思うが、私なりに聞きかじりも加えて次のようなポイントに気を

御挨拶

部長 太田捷昭

